

「キリストがいるところ」  
マタイによる福音書 25 章 31-46 節

終わりの時、イエス・キリストはこの地上に再び来られます。それは、主イエス・キリストこそが終わりをもたらす方であるということです。終末における終わりを意味する元々の言葉には、「目的」とか、「完成」といった意味が含まれています。つまり、終わりには意味があるということです。それは神さまの愛の御心が成就するという目的と、その完成を意味します。

主イエスが再臨される時、すべての人々がキリストの前に集められ、救われる者と滅びる者とに分けられるといます。では、この最後の審判においては何が問われ、何が救いと滅びを分けるのでしょうか。それは、わたしの兄弟である最も小さい者の一人に、小さな親切をしたかどうかということで判断されるということです。

しかし、そのように考えるといくつか問題が起こってきてしまいます。もし私たちの行いが救いの根拠だと考えるならば、私たちは終わりの時の裁きの時まで自分が救われているのかいないのか、確信の持てない信仰生活を送ることになってしまいます。また何より、私たちの行いが救いの条件となるなら、キリストの十字架は必要ないものとなってしまいます。

そもそも私たちは、どの立ち位置でこの話を聞いているのでしょうか。私たちがこのような話を聞く時、「私たちはどうすべきか」ということをまず考えがちになってしまいます。つまり、「何かをする側」に身を置いてこの話を聞いてしまいやすいものです。しかし、私たちは「お世話される側」に立つこともあるのではないのでしょうか。まず私たちは、自分自身も「最も小さな者の一人」であるということを忘れてはならないと思うのです。

イエスさまは言われます。「はっきりしておく。わたしの兄弟であるこの最も小さな者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」と。イエスさまは「この最も小さい者は、わたしの兄弟だ」と言ってくださるのです。そして、そのようにして私たちの傍らに立ってくださるのです。

この「小さい」というのは、単純に目に見える貧困とか、社会的立場といったようなことだけではないでしょう。神さまの前に出た時に、私たちは自分自身が弱い者であること、主の支えがなければ生きることができないことを知ります。それゆえ、キリストが共にいてくださらなければ、神の前に立つことなどできない。それが私たちの小ささです。イエスさまは、その小さい者たちの兄弟姉妹となられたのです。私たちは、イエスさまが最後の審判においてまで、「兄弟」と呼んでくださるほどに大切に思われているのです。私たちは、「最も小さな者の一人」であると同時に、神さまの目から見て「かけがえのない貴い者の一人」として愛されているのです。

それゆえに、私たちは愛に生きようとするのではないのでしょうか。「わたしたちが愛

するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。」(Iヨハネ4:19)。

神さまが私たちを分けられる基準は小さな親切です。しかし、神さまは、行為そのものを問うているではありません。キリストの愛の中に生きているかを問われているのです。

ここに書かれている行為には、特別なことは一つもありません。もしかしたら、やっている本人たちは胸を張るところか、「自分にはこんなことしかできない」と無力感さえ感じながら、それをしていたかもしれません。しかし、イエスさまは「その愛の行いを私は喜んで受け入れる」と言ってくださっているのです。そして、それこそが、私たちがキリストと共に生きていることの証なのです。

今日の箇所は裁きについて記されているところですが、イエスさまは34節でこう言われています。「さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい」。

神さまが私たちに用意してくださったものは、永遠の命であって、永遠の罰ではありません。41節に「呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意されている永遠の火に入れ」とあるように、永遠の火、永遠の罰は、「悪魔とその手下」のために用意してあるものなのです。それなのに、なぜあなたたちは滅びに進もうとするのか、そのことにイエスさまは心を痛め、嘆いておられるのです。けれども、そのような私たちであっても、それでも神さまは私たちに憐れんでくださっているのです。何とかして、私たちが永遠の命にあずかることが出来るように、そのために主イエス・キリストは、私たちの罪を背負って十字架にかかってくださったのです。

「正しい人たちは永遠の命にあずかる」。このことこそ、神さまが備えてくださっている私たちの希望であり将来です。この将来に生きるために、神さまは私たちに招いてくださっているのです。今日も、愛のまなざしをもって、神の愛の中に生きるようにと招いてくださっているのです。